

JDS 広島支部 えんぜるふいっしゅ

● あゆみ

広島支部「えんぜるふいっしゅ」は、1990年に広島市こども療育センター「ダウン症のための療育教室」が母体となって発足しました。結成以来、全ての子どもたちが生き生きと育ち暮らしていける社会を願って活動しています。いろいろな専門家に指導を受けて親として学び合い、わが子のために何をすべきか考えて活動してきました。多くの専門家や行政、保育・教育現場の先生方などの支援をいただいています。

● 活動

①全員全員へ向けた活動……会報発行、情報交換会、相談会、勉強会、スポーツ体験会、クリスマス会等。

②ブロック会……地域ごとに分かれた相談会、情報交換、勉強会、親睦会。会報掲載の地域便り作成等。

③部会……乳児・幼児・学齢期・学校卒業後に分かれた活動。特に乳幼児とその保護者の集いを大切にしています。

④自主グループ……おんがくくらぶなど、本人たちの為の活動。保護者のための活動。

⑤ソーシャルスキルアップ支援事業……カカオ活動(コーヒーサービス)・職場体験実習を通してマナーを学び、社会性を身に着けるための活動。広島の独自のこの活動は、本人が希望する職場で学生ボランティアと共に活動・実習することで、本人の成長を促し、ボランティアの育成にもなります。一般市民と接することで啓発活動にもなっています。

えんぜるふいっしゅは発足以来、熱心に活動してきた先輩の皆様のお陰で、行政やメディアと繋がり、医療関係者と連携して活動してきました。現在も会員の皆様が積極的に活動されていて大学等の教育関係など関係各所への繋がりも広がっています。

一人ひとりができることは限られていますが、力を合わせることが前に進む力になっていることを実感しています。ダウン症のある人を理解する方が多くなるよう、これからも会員みんなで活動をしていきたいと思っています。

◆設立年度：1990年

◆会員数：150家族

◆ご本人の年齢：0歳から43歳

◆対象地域：広島県内全体と周辺地域

◆問い合わせ・連絡先：<http://www.angelfish-hiroshima.org/>